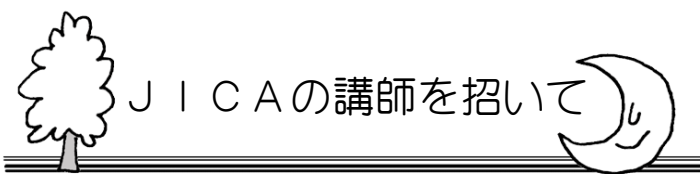


2 年学年通信

平成30年2月8日(木)
文責 柳原 隆史



2月7日(水)に国際理解学習の一環としてJICAの方を招いて講演を行なっていただきました。

この取組みは次の2点を学年の狙いとして進めています。

- ① 世界の現状と課題について身近に感じ、自分の意見を表現できる。
- ② 海外で働いている/いた方や海外からから日本に来て働いている外国の方から、それぞれの国の話を聞き、伝統や文化、生活や暮らしについての理解を深める。

直前の2月6日(火)には、各クラスの班長が集まり、司会や質問者などの役割分担を決め、自分たちが主体的に進めるための準備を行ないました。

当日は役割で決めた班長が控え室となっている校長室まで講師の方を迎えに行くことから始めました。

その様子を校長室で見えていたのですが、どの生徒も大きくハキハキとした声で、丁寧な言葉遣いができていました。講師の方も大変驚かれています、中学2年生でこんなにも立派な態度を取ることができるのですねとおっしゃっていました。

写真を撮るためにすべてのクラスを見て回ったのですが、どのクラスも一生懸命に講師の方の話を聞き、たくさんのメモを書く様子を見るのができました(残



役割を決める班長



質問の内容を考える

念ながら一つの教室にとどまり、話を聞くことができませんでした)。講演が終わったあと、どうだったと聞くと、「勉強になった」「とても大切なことを教えて貰った」「今まで知らないことがたくさんあった」などの感想を聞くことができました。

以下は感想文の一部です。

「この度はマラウイのことをについて、教えていただきありがとうございました。～中略～知らないことが多くて、最初から最後までドキドキしていました。このような時間がなければマラウイの文化や食生活など、もはやマラウイじたいを知ることがなかったと思います。」

「バングラディッシュは貧困の差が激しいと知ったけれど、それよりも人が明るくてそんなことは関係ないんだと思った。自分もいろいろな国に行っているいろいろなことを知りたいと思った。」

「自分の希望した場所じゃない、いきなり言われた所に行って日本の物などをエクアドルの方たちに広めてそれを笑顔に変えてほんとにすごいなと思いました。挑戦すること、自分の好きなことを大事にすることを学びました。」



講師の方を案内する



講演後、講師の方々が校長室に集まり、各クラスの様子をお話してくださいました。「どのクラスも大変真剣に聞いていて、質問もよく考えられているものが多く、答えていて楽しいものでした。講演を通して自分でも気がつかないことに気がつかされて、教える立場ではあったが、逆に南郷中学校の生徒のおかげで勉強になりました。」

職場体験などのこれまでの取組みを通して、人の話を聞く姿勢、丁寧な言葉遣い、その場に応じた適切な態度などが身につくように勉強をしてきました。その成果が今回の取組みでは大いに活かされました。先生は71期生の確実な成長を感じることができました。

次は今回の取組みを通して学んだことをクラスの中で発表し、交流を行ないます。しっかりと相手にわかりやすく伝わるように、ポスターや、発表内容について工夫を行ないましょう。